

## 海外旅行を安くあげるコツ

筆者の昨秋の欧州旅行のコースはつぎのようであった。

大阪—東京(北極回り, London, Paris 経由)—Lisbon—Madrid—London—Oslo—Stockholm—Göteborg—Copenhagen—Warsaw—Prag—Wien—München—Zürich—Frankfurt—Düsseldorf—Hannover—Berlin—Hamburg—Amsterdam—Brussel—Paris—Athene—Rome—Hong Kong—東京—大阪

大阪発大阪着で, Tourist/Economy クラスで 451 950 円であった。ところが, 東京—欧州の主要都市の往復で 439 150 円であり, 大阪—東京往復が 12 000 円であるから, 差額はわずか 800 円になる。Rome—Athene 間を別に往復すれば, 約 6 万円かかるから, コースを上手に選ぶことがいかに大切であるかがわかると思う。

Portugal, Spain などの南欧の国では, タクシーは安い。一般には高いので, タクシー代は馬鹿にならない。旅行者の携行荷物は, 一般に, 無料の 20 kg の荷物のほかに, 機内持込のものをふくめて 25 kg ぐらい, 個数にして大小 3 個ぐらいである。短い日数滞在の場合であれば, Air Port, Air Terminal, あるいは駅などで, まず, 手荷物一時預所をさがして, 20 kg 弱の荷物を預け, 身軽になることが必要である。そうすれば, タクシーに乗らなくても, 市電, 市バスでホテルに行くことができる。

初めての旅行者はホテルを予約して行動しないと心配であるが, 欧州では, 夏の旅行シーズン以外は, そう心

配しなくてもよい。ホテルの予約なしに到着した場合には, Air Terminal, あるいは, 駅の Hotel Information にたのめば, 親切に世話してくれる。この際, 希望する値段をはっきりといい, また, 「ここから歩いて 5 分ぐらいのところを望む」といえば, 必ずそのように取りはからってくれるし, さらに, 出発のときにも楽である。

なお, 大きい都市に滞在する場合には, 到着と同時に, まず, 少し上等の地図を買う必要がある。筆者は IRF の世界大会に出席のため, Madrid に 10 日間滞在したが, 300 円の地図によって地下鉄のルートをよく研究し, 会場への往復はすべて地下鉄によった。地上に出ない限り 1 回 1 pts = 6 円であるから, 午前午後の往復で計 24 円が 1 日の交通費であった。Madrid では, 日本人の出席者で地下鉄を利用したものはあまりなかったようである。西 Berlin では, 旅行者用のバスがある。市電, 地下鉄, 市バス何にのっても 4 日間で 6.5 DM (600 円) である。Hotel, Pension に配布されている Berlin Programm によって発売所を知ることができ, これがあれば非常に楽である。

海外への旅行にあたっては事前の準備が大切であるが, 大学に勤務するものとしては, 平素から海外誌に論文を投稿し, その別刷を送っておいて懇意になっておくことが必要である。海外の雑誌に投稿してあることは, 旅行そのものを快適にするのみならず, いろいろな点で安くあげられることになる。

小田 実氏のように, 欧州旅行 1 日 1 ドルは不可能であるが, 夏季以外ならば, 一日 10 ドル以下で旅行できると思う。

【名古屋大学 成岡昌夫・記】

## 第 5 回国際かんがい排水委員会総会 (東京) 開催

かんがい, 排水, 治水, 河川改修に関する諸問題を討議するため, 5 月 13 日から 21 日までつぎの予定で開催される。

1. 会 期: 本会議 1963 年 5 月 13 日 (月)~21 日 (火) まで  
見 学 5 月 22 日 (水)~28 日 (火) まで
2. 会 場: 赤坂プリンス・ホテル (千代田区紀尾井町 1 電 332-5151)
3. 議 題:
  - 課 題 15: かんがい, 排水および治水工の経済学と融資
  - 課 題 16: 農地における配水と利用の効率
  - 課 題 17: 排水における地下水位の調節——過度の排水の防止
  - 課 題 18: 地表および地下の滞留もしくは拡散による洪水の防止ならびに調節
  - セミナー: 洪水を拡散させて栽培する作物, 洪水減退時の作物, 河川統御に関連する技術的, 経済的な面
4. 会議運営: 各国から寄せられた諸論文を課題ごとに総括報告者がまとめて発表し, 参加者の意見発表または討論がなされる。会議使用語は英仏語であるが, 同時通訳により日本語も聞けるよう準備する予定。ただし発言は英仏語に限る。日本から 10 論文が提出されている。
5. 見学旅行: A (東北), B (北陸), C (中央), D (東海), E (近畿) のコースで 7 日間。
6. その他: 詳細は下記へ照会のこと。

東京 千代田区霞ヶ関 農林省分室・国際かんがい排水委員会東京会議準備事務局 (TEL 591-6098)